



*em***CAMPUS**

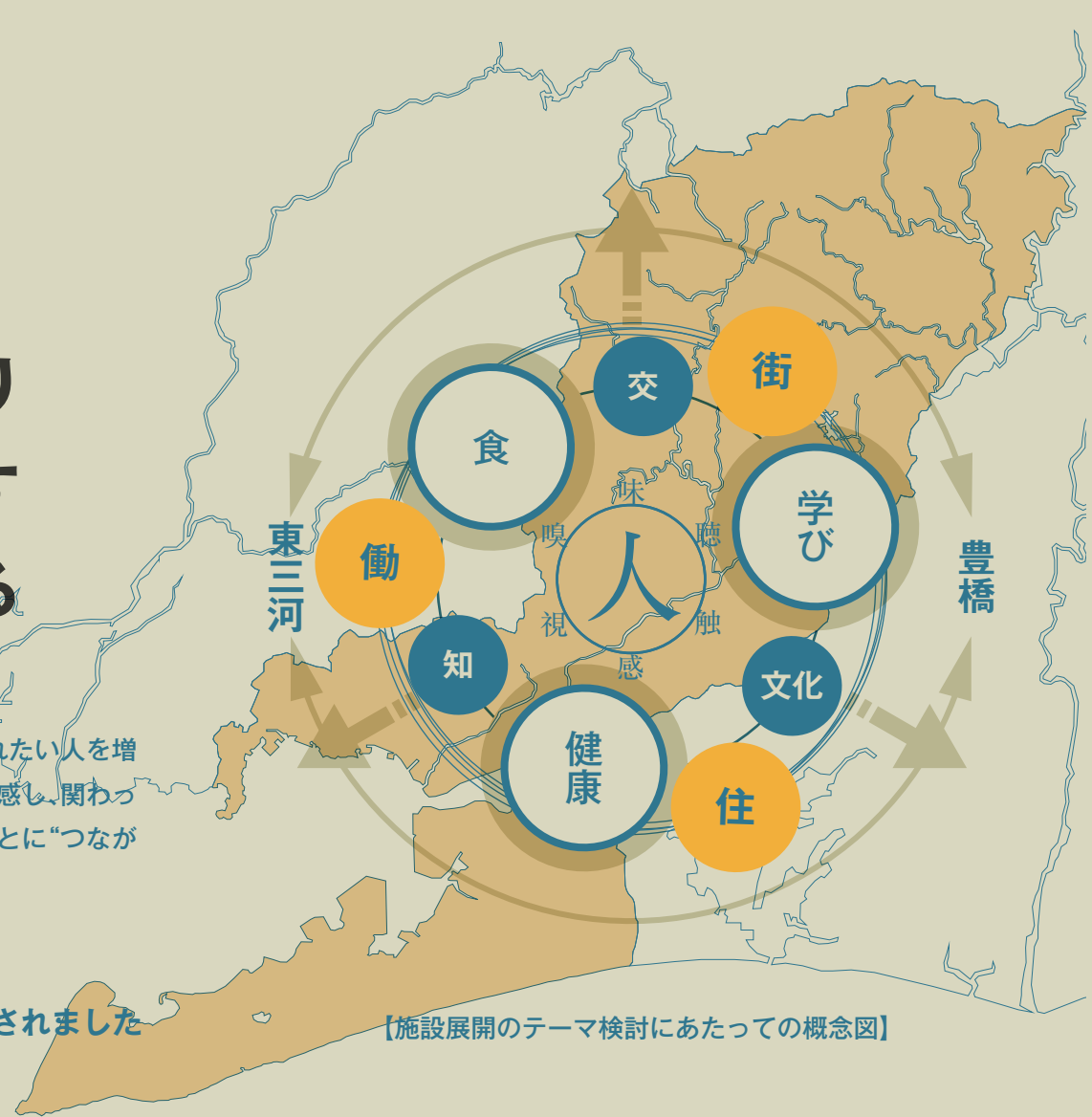
【本再開発事業の意義・コンセプト】

みんなが主役となり つながりを生み出す まちの拠点をつくる

豊橋のことを好きな人・くらしたい人・誇りを持つ人、訪れたい人を増やしていきたい。“人”が主役となり、想いを多くの人が共感し、関わっていける場としていきたい。ここを起点とし、あらゆることに“つながり”を生み出し、豊橋の明日につなげていきたい。

これらを実現することを目指し
豊橋駅前大通二丁目再開発のコンセプトが策定されました

【施設展開のテーマ検討にあたっての概念図】



emCAMPUS

食・健康・学を楽しみ、つながる

東三河の駅前の「笑む」に満ちたキャンパス。

ここは、一生何かに挑戦したり、目標を持ち、前を向き、生きがいと共に日々を過ごすことのできる、一生青春キャンパスです。

Eat（食）とMikawaをつなぐCAMPUS

Education（学び）とMikawaをつなぐCAMPUS

Energy（健康）とMikawaをつなぐCAMPUS

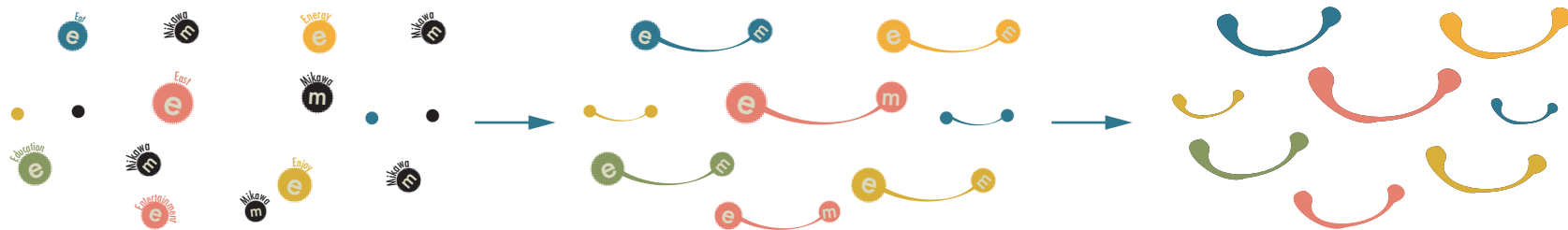
いろんな「E」と「M」がつながって生まれる「いい三河」

東三河で暮らす人はもちろん、訪れた人、訪れようと思っている人、あらゆる東三河(East Mikawa)に関係する人が誇りに思い、
笑みがあふれる駅前(Eki Mae)のキャンパスがここに誕生します。



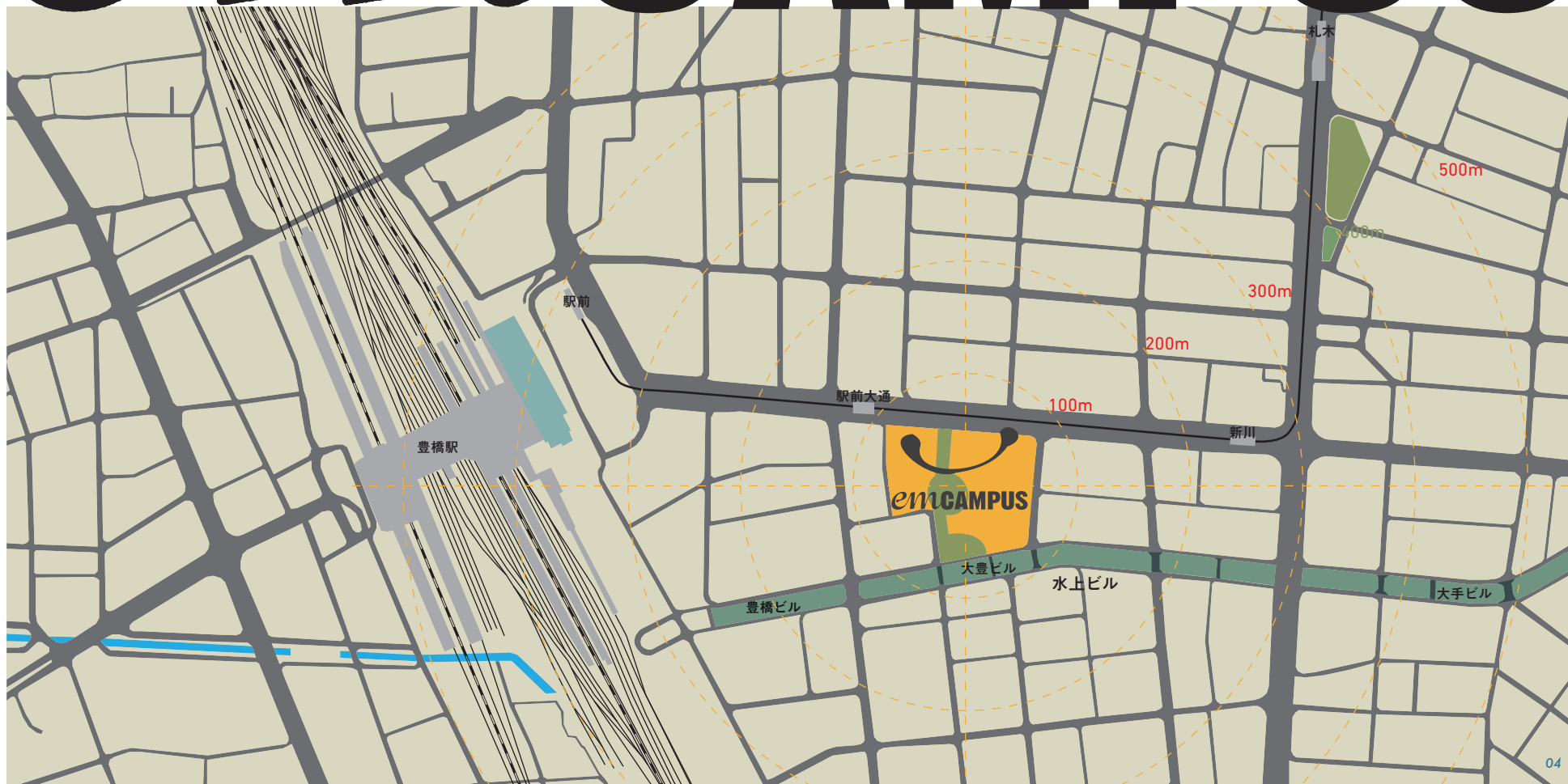
*em*CAMPUS

たくさんのつながり、たくさんの「笑む」をイメージしたシンボルマークデザイン



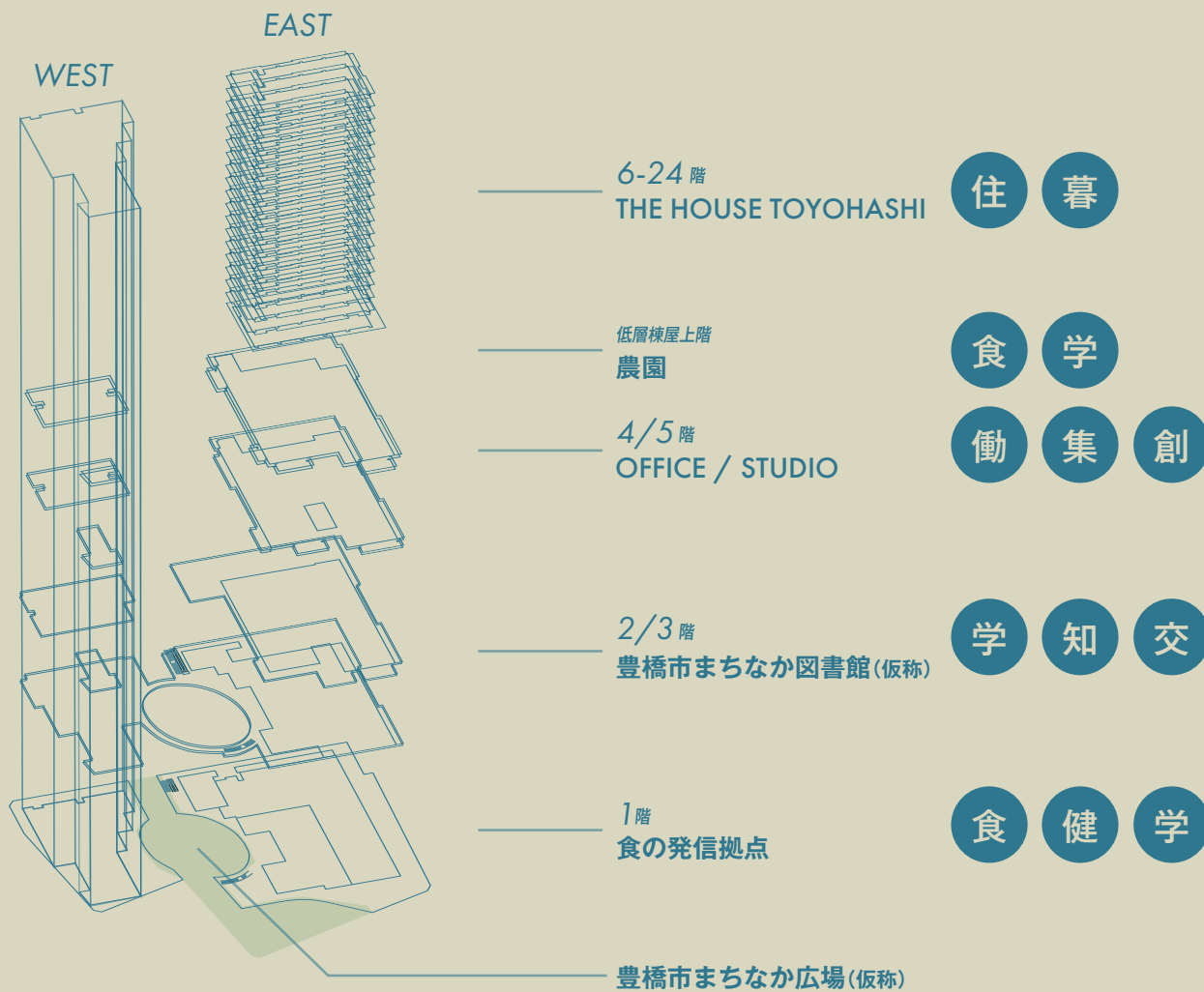
豊橋駅前の「暮らす」と「楽しむ」が交わる「笑む」のキャンパス

emCAMPUS



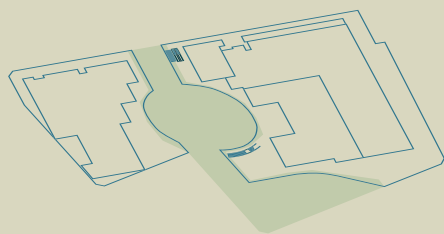


emCAMPUS



広場

人が集い、交流し、滞在する拠点



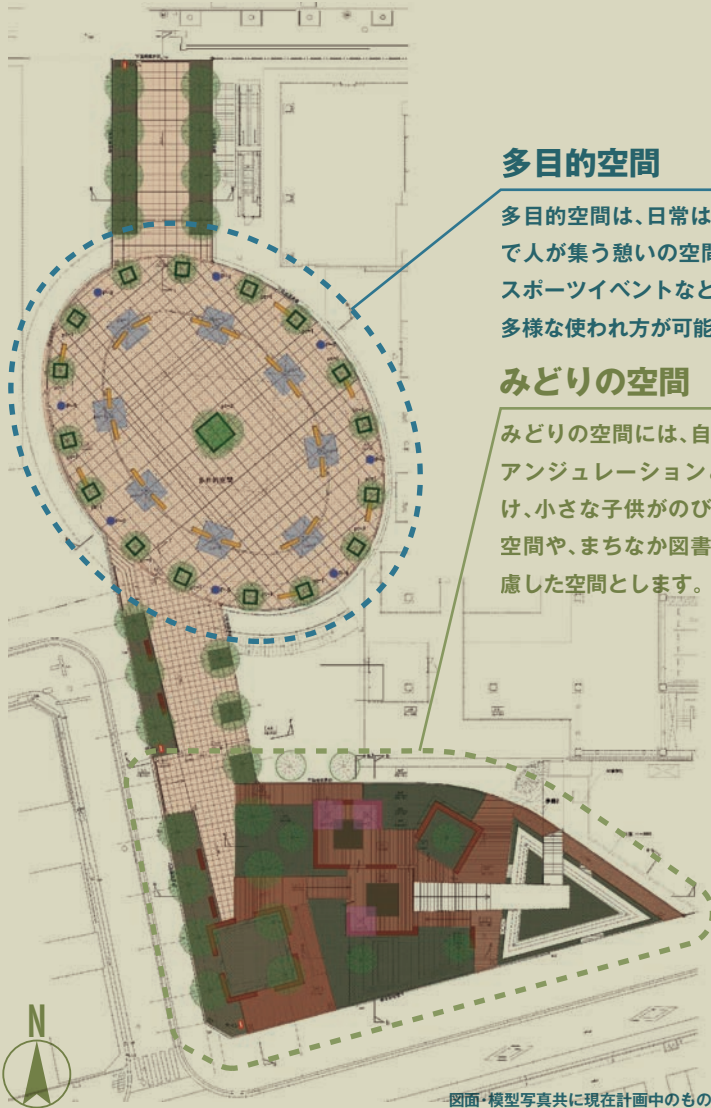
豊橋市まちなか広場 (仮称)

まちなかの新たな「まち歩きの核となる緑に溢れたオアシス空間」として、にぎわいの創出や商業の活性化など、中心市街地活性化の一翼を担うことを目的とし、街とつながることを重視した空間を形成します。またemCAMPUS内の施設やまちなか図書館(仮称)等と融合し、区域の魅力を高めます。



まちとつながる空間

駅前大通りや水上ビルなど
まちのどこからでも、まちなか広場
につながるような空間を形成します。



多目的空間

多目的空間は、日常はおしゃべりや飲食等
で人が集う憩いの空間として、また音楽や
スポーツイベントなどハレの場として多種
多様な使われ方が可能な空間とします。

みどりの空間

みどりの空間には、自然の丘を想像させる
アンジュレーションと呼ばれる起伏を設
け、小さな子供ののびのびと遊べるよう
な空間や、まちなか図書館とのつながりを考
慮した空間とします。

図面・模型写真共に現在計画中のもので、変更の可能性あります

広場活用イメージ



走ったり・転がったり



食べたり・飲んだり



触れたり・観察したり



歌ったり・演奏したり



見たり・見られたり

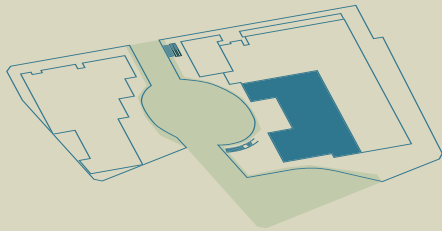


読んだり・休んだり



1階

東三河の豊かな食材、豊かな人材が集う



食の発信拠点

東三河が誇る豊かな食材、その食材を生み出す生産者、その食材を活かし美味しい料理を振る舞う料理人。emCAMPUS 1Fは、この地域の食の価値を高めあう人同士が集い、繋がりあうことで新たな食文化を創り世に発信する食の市場です。



生活者

「東三河の“美味しい”を楽しむ」

素材としての価値
料理として味わう
食を中心に集う
=もうひとつのダイニング

食の発信拠点

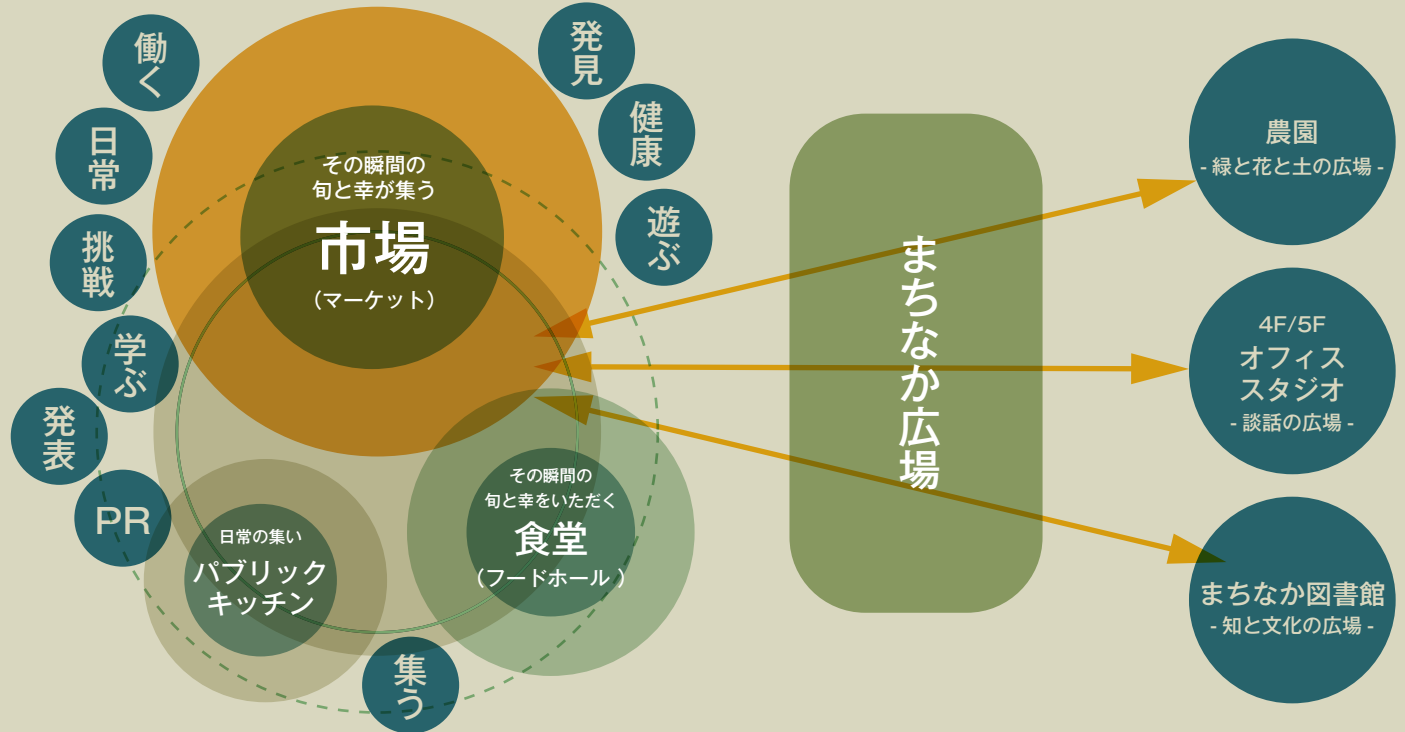
市場・広場・食堂

ビジネス
(挑戦者)

「自分の“可能性”を楽しむ」

新しいレシピ
地域とのコラボ商品
これまでになかったサービス
=価値を発信するステージ

「ひとつの市場」に「3つの顔」で「旬の暮らし」を楽しむ



テーマは「食にまつわるあらゆる挑戦者を応援」。

東三河を中心とした生産者や企業、個人が新たな技術やこだわりの製法で生み出した食材を届ける「市場(マーケット)」。

独立を志す挑戦者や、新たなメニューを考案し感動を届けたい料理人などが腕を振るう「食堂(フードホール)」。

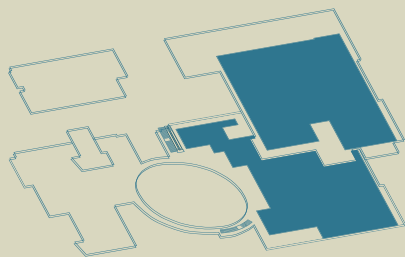
親しい仲間同士の集いやイベントの開催、企業発表など、キッチンを軸に共通の時を過ごすことのできる、「パブリック(みんなの)キッチン」。

これらの場の提供を通して、東三河発の新しい食文化の創造を目指します。



2/3階

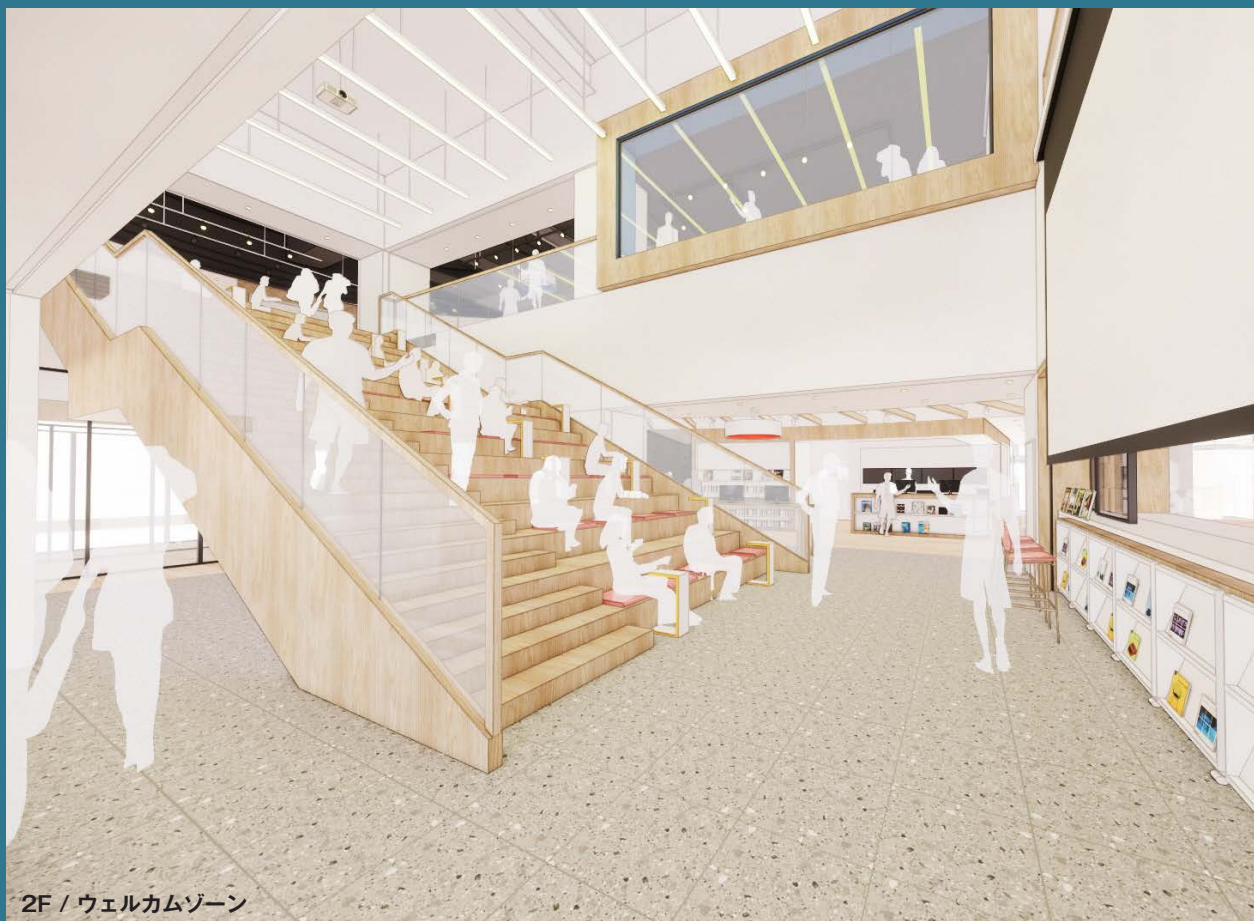
「世界を広げ、まちづくりに繋げる
「知と交流の創造拠点」



豊橋市まちなか図書館（仮称）

豊橋市における3番目の分館として、図書館としての基本的な機能をおさえつつ、活字からの情報に加え、人と人との交流によって創出される生きた情報を提供する「知と交流の創造拠点」を目指します。





2F / ウェルカムゾーン



2F / アクティブゾーン



2F / アクティブゾーン



3F / リラクゼーションゾーン



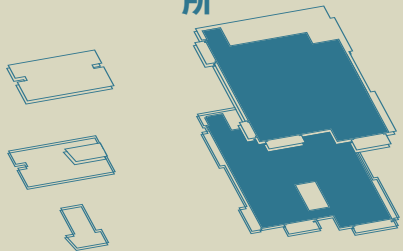
3F / グロ・アップゾーン



3F / ラーニング・クリエイティブゾーン

4/5階

働く人・まなぶひとが新たな光を放つ場所



OFFICE / STUDIO

オフィスはもっと自由に柔軟な働き方が実践できる場所へ。ここは、まちなかのビジネス拠点として、人々が集い、学び、それぞれの想いを形にできる、安全で快適なワーキング・スペース。ひとり一人が年齢や仕事、そして組織の枠を超えて成長し、新たな光を放つ場所、それがemCAMPUSの「オフィス」です。



5階 STUDIO

「生涯を通じて学び、成長する。」

「自由な働き方からイノベーションが生まれる。」

オープンエアの光庭を中心にしたサロンスペースと大小16のミーティングルームを備える東三河最大級の最新シェアオフィス。学びと交流から、ひとり一人の暮らしに彩りを加え、ビジネスの新しいシーズ(種)が生まれ育ち開花する場所です。

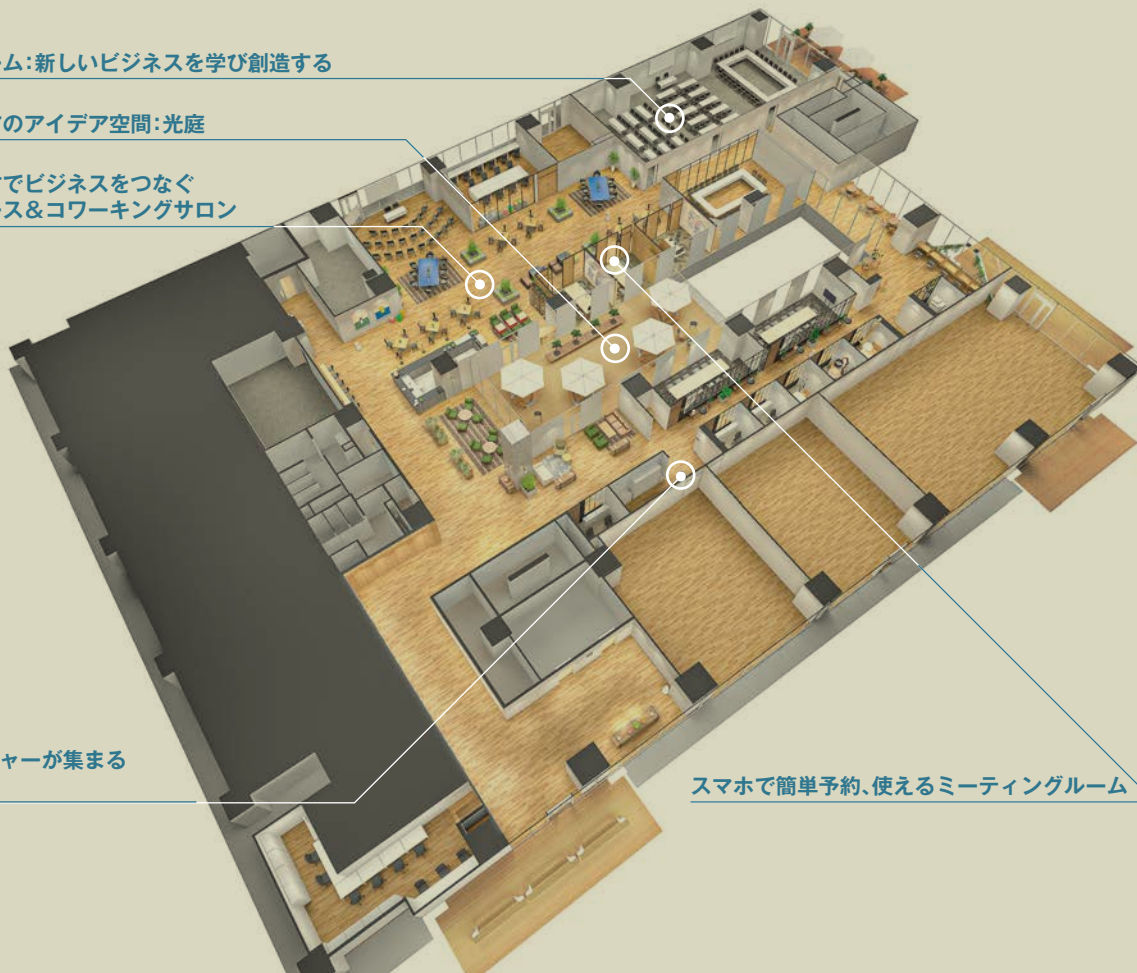
セミナールーム:新しいビジネスを学び創造する

オープンエアのアイデア空間:光庭

自由な働き方でビジネスをつなぐ
サロンスペース&コワーキングサロン

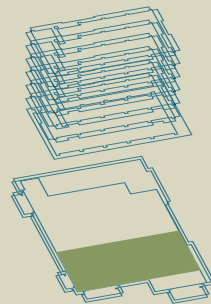
スタートアップチャレンジャーが集まる
シェアオフィス

スマホで簡単予約、使えるミーティングルーム



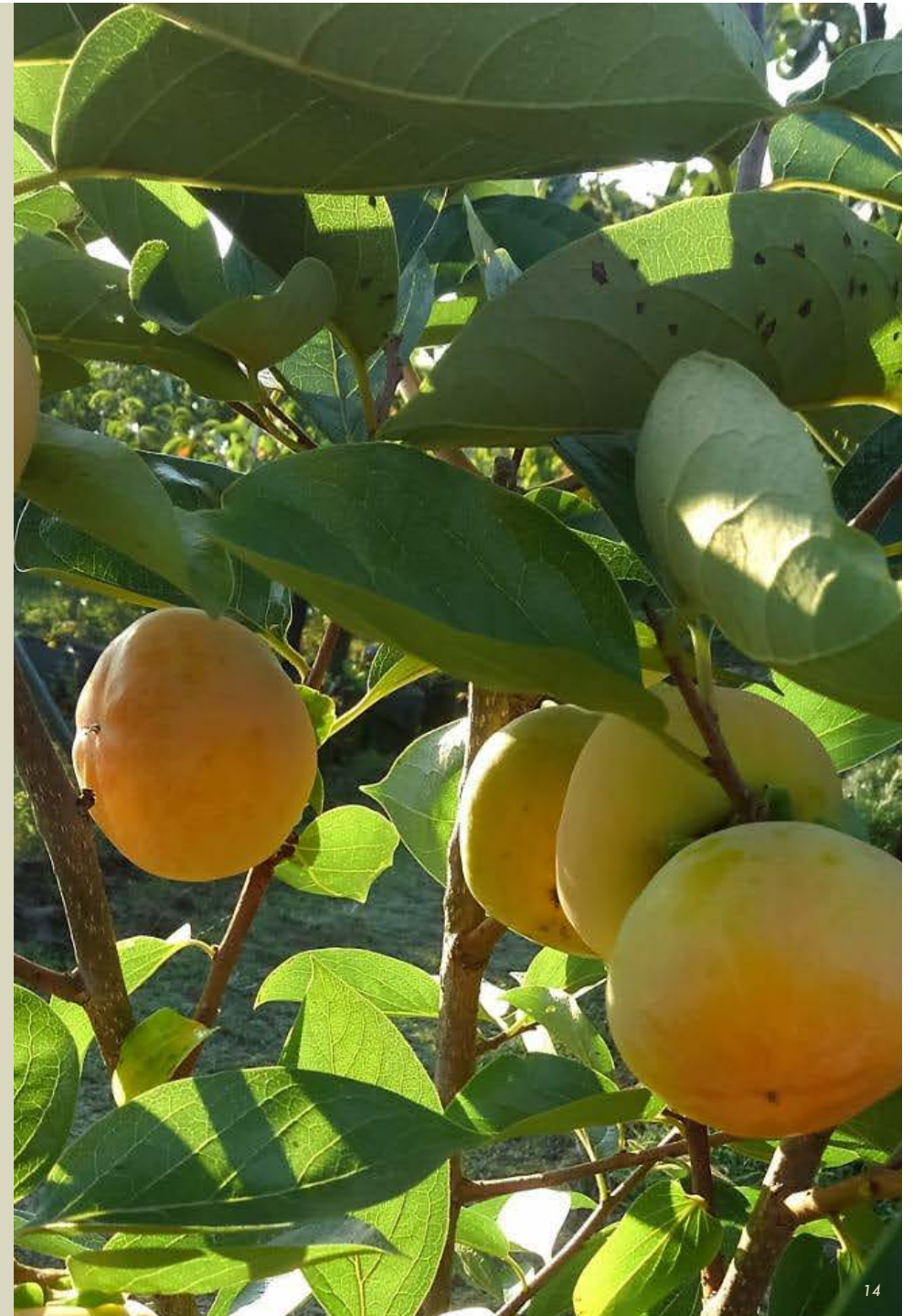
低層棟屋上階

東三河が誇る農の先駆者の表現農園



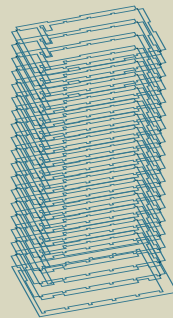
農園

東三河が誇る農の先駆者が、独自の研究や創意工夫を表現する農園です。収穫物の魅力を1Fのマーケットの商品やフードホールの素材として発信します。また、作物や生産者との触れ合いが実際の学びとなります。生産者の熱い想いを発信する農の情報メディア、ショールーム型の農園です。



6-24階

これからの新しい「まちなか居住」の提案



THE HOUSE TOYOHASHI

大都市圏への一極集中が見直され、地方で暮らすことの価値が高まっています。THE HOUSE TOYOHASHIは、豊かな自然環境、大都市圏へのアクセスの良さに恵まれた豊橋ならではの、「まちなか居住」の魅力を提案し「住」を切り口にして、中心市街地に活力を呼び戻します。





emCAMPUS

地区名称
豊橋駅前大通二丁目地区

事業名称
東三河都市計画 豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業

施行者
豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合

地区面積
約 1.5ha

設計監理
北山孝二郎 +K 計画事務所、アール・アイ・エー

特定業務代行者
鹿島建設株式会社

東棟概要

敷地面積	5,013.54 m ²
建築面積	3,983.96 m ²
延床面積	33,429.30 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地下1階 地上24階 塔屋2階
最高高さ	93.55m

東街区竣工 2021年7月予定

西街区竣工 2024年9月予定

emGAMPUS

